

令和 7 年度

高規格救急自動車・高度救命処置用資器材仕様書
(龍ヶ崎消防署配置)

稲敷広域消防本部

茨城県龍ヶ崎市 3 5 7 1 番地の 1

TEL 0 2 9 7 - 6 4 - 3 8 4 6

FAX 0 2 9 7 - 6 4 - 1 2 4 1

高規格救急自動車・高度救命処置用資機材仕様書

第1章 総 則

1 この仕様書は、稲敷広域消防本部（以下「当消防本部」という。）が令和7年度に購入する高規格救急自動車（以下「車両」という。）の製造及び高度救命処置用資機材の製作に関する諸般の仕様を定めたものである。

2 車両は、緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱(平成18年4月1日消防消第49号、以下「交付要綱」という。)に定める高規格救急自動車として製作されたものを基本とするほか、本仕様書に基づき充足した製作をし、乗車定員7名以上とする。

3 車両は、道路運送車両法(昭和26年6月1日法律第185号)及び救急業務実施基準(昭和39年3月3日自消甲教発第6号通知並びに平成26年10月31日付、消防救第186号消防庁通達以下「実施基準」という。)その他関係法令、通達等に適合するもので緊急自動車として承認が得られるものであること。

入札参加申請業者は、本仕様書の医療機器等を取り扱うために必要な資格（医薬品医療機器法第39条に定める販売業の許可及び同法第39条の2に定める管理者の設置等）を有していること。また、発注者より求めがあった場合には、これらを証明する書類を提出すること。

4 購入台数 1台

5 疑義については、応札前に検討し十分熟知の上で、当消防本部に確認、協議のうえ当消防本部の解釈に従い指示を得ること。

受注者は、契約後2週間以内に当消防本部と協議を行い、細部について確認をすること。協議、打ち合わせ後1週間以内に打ち合わせ内容の議事録を提出すること。

技術上の変更を要する場合は、随時当消防本部と協議したのち、書面をもって提出し、承認を得た場合のみ仕様変更をすることができるものとする。消防本部の解釈と相違及び支障が生じた場合には、受注者において責任を負うこと。

6 受注者は、艤装に入る前に次の関係図書を当消防本部に提出し、承認を得た後に着工すること。

(1) 着工届出書	2部
(2) 内訳書	2部
(3) 製作工程表	2部
(4) 艤装製作案内図	2部
(5) 車両艤装図5面図	2部
(6) 装備品取り付け図	2部

7 受注者は、設計、製作、材料、部品等に関し、特許その他権利上の問題が発生した場合は、その責任を負うこと。製造途上に生じた一切の疑義は、必要に応じて当消防本部の指示又は承認を受けるものとする。指示及び承認を受けずに履行した場合には、責任を負うこと。本仕様書について不明な点は事前に当消防本部へ質疑し、内容を十分熟知のうえ了承するものとする。支障が生じた場合には、受注者において責任を負うこと。

8 検査

(1) 検査は中間検査 1 回及び完成検査 1 回とする。

なお、中間検査はボディー内装が完成し、各部品積載品の取り付けの時とする。

中間検査を受けようとするときは、事前に検査日時、場所等を記載した書面を提出し承認を受けること。

(2) 検査場所は、中間検査にあつては車両架装を実施する製作会社とし、完成検査にあつては当本部と協議のうえ、決定すること。

(3) 検査に必要な測定器等は、受注者側で準備すること。

(4) 検査時の質疑等

受注者は、検査を通じ、不具合があると指摘された部分のやり直し又は修復について最善をつくすとともに、再検査を受けなければならない。

納入に至るまでの検査及び故障、修理に要した費用は受注者の負担とする。

9 完成書類の提出

完成検査後、次の書類を提出すること。

- | | |
|-----------------|-----|
| (1) 製作概要図面 | 1 部 |
| (2) 車両取り扱い説明書 | 1 部 |
| (3) 各種機器取り扱い説明書 | 1 部 |
| (4) 各種保証書 | 1 部 |
| (5) 緊急自動車届出書 | 1 部 |
| (6) 配線図 | 2 部 |

10 納期

完成車両は、関東運輸局茨城陸運支局の行う新規登録検査に合格したものを納入することとする。

1 納 期 : 令和 7 年 12 月 26 日 (金)

2 納入場所 : 新規検査及び新規登録を受け、当消防本部に納入すること

(1) 納期については、契約書に記載した期日を超過しないこと。

(2) 納入時、車両及び救急用装備品、艀装品についての取り扱いに係る説明を行うこと。

11 登録及び諸費用

(1) 自動車新規登録の手続き及び緊急自動車の届出事務は受注者が行い、係る費用については発注者が別途負担する。

(自動車賠償責任保険料、自動車重量税、登録諸費用、リサイクル費用)

- (2) 改造または変更部の検査に要する費用は、受注者側が負担する。
- (3) 軽微な変更と位置変更については、受注者側負担とする。
- (4) 車両ナンバーの指定は当消防本部の指定ナンバーとする。

仮 龍ヶ崎救急 2「25-65」

12 疑義等の解釈

この仕様書の記載事項について疑義がある場合には、応札前に当消防本部に確認、協議のうえ当消防本部の解釈に従い解決すること。指示及び承認を受けずに履行した場合には、責任を負うこと。

仕様書の記載事項について変更しようとするときは、事前に理由書及び図面を付して当消防本部の承認を得ること。また、内容に関して疑義が生じた時は、当消防本部と協議のうえ解決すること。疑義については、当消防本部の解釈に従い指示を得ること。

13 保証

- (1) 納入後 1 年以内に故障が発生した場合は、故意又は過失によるものでない限り受注者の責任において無償で修理等の必要な処置を講ずること。
- (2) 製造上の欠陥による故障、又は工作不良に起因する不都合箇所が発生した場合には、保障期間後といえども使用期間中に渡りこれを保証すること。
- (3) 1 ヶ月点検又は 1,000 km 点検に伴うエンジンオイル、オイルエレメント交換を受注者負担で行うものとする。
- (4) 受注者は、1 年間を経過したのちにおいても、重大な製作上等の瑕疵によって構造上（部 品・材料の不良含む）或いは、ぎ装にかかる技術上のミスによって、故障または、不備欠陥が生じた場合は、保証期間経過後も責任を負い、速やかに無償にて修理及び交換等を行うこと。

第2章 仕 様

1 基本規格

- (1) 使用シャシは令和 7 年度の製造とし、車両装備及び付属品は、すべて新規製品のものであること。使用シャシ製造年、車両装備及び付属品について発注者より求めがあった場合は、書類を提出すること。
- (2) 救急自動車は、「救急業務実施基準」（昭和 39 年 3 月 3 日付、消防庁長官通達・平成 26 年 10 月 31 日付、救急業務実施基準の一部改正、消防庁長官通達）第 9 条及び第 10 条に定める要件に適合すること。
- (3) 車体は、全有蓋で密閉式構造のものであること。
- (4) 車内の照明は、傷病者の症状及び救急隊員の業務の遂行に支障のない照度を有するものであること。
- (5) 車体後部開口部は、隊員及び傷病者、関係者等の安全な乗車及び降車、ストレッチャーにより搬入及び搬出が安全で容易に行われ、ストレッチャー移動時の安全性、事

故防止に配慮した空間（患者室幅・開口高・室内高等）を確保した構造のものであること。

- (6) 傷病者を収容する部分の規格は、ベッドの頭部側の空間、ベッド頭部側の座席とベッドとの空間及び室内高が実施基準第 11 条に定める資機材を用いた業務の遂行に支障ないものであること。
- (7) 資機材の機能を損なうことなく、安全かつ確実に積載できるものであること。
- (8) 資機材に必要な電気容量を確保できるものであること。
- (9) 緩衝装置は、資機材を用いた業務の遂行にあたり十分な性能を有すること。
- (10) 十分な冷暖房機能を有すること。
- (11) サイレンは、「救急自動車に備えるサイレンの音色の変更について」（昭和 45 年 6 月 10 日付消防防第 337 号通知）の別紙「救急自動車に備える電子サイレンの概要」に適合するものであること。
- (12) 仰臥位の傷病者の体位変換が可能な機能を有すること。
- (13) 患者室内にメインストレッチャーを確実に固定し、かつ積載補助固定装置を取り付けること。
- (14) ストレッチャー積載補助固定装置は走行中の振動の影響が軽減される構造であり、移動を生じない構造で安全確実に固定できるものとする。
- (15) ストレッチャーの降車及び収納は、ストレッチャー移動時等の安全性、事故防止に配慮した空間（患者室幅・開口高・室内高等）を確保し、傷病者の体位が座位及び水平状態のままでスムーズに行える構造であること。脱着式のヘッドパッドを設けること。
- (16) メインストレッチャーは安全かつ簡便に車両へ収容、降車ができるものとし、収容、降車時においては、専用の電動リフト装置と連動し、傷病者の落車などのリスクを低減可能な構造であること。
- (17) ベッドの頭部側に、座席を有するものであること。
- (18) 排気管は、車両の後方に排気ガスが滞留しないよう、また車両後部ドアを解放した際に、収容直前の傷病者に対して直接排気ガスが当たらない、自車の排気ガスが患者室へ流入しない構造とすること。
- (19) 使用燃料は、車両の長期運用を考慮し、価格の安価な無鉛ガソリン（レギュラー）とすること。
- (20) 安全対策のため事故防止及び安全性を考慮し、先行車や歩行者を検出し、警告灯・警告音等で警告し、ブレーキ操作を促す、また追突や衝突の可能性がある場合には自動でブレーキが作動する国土交通省が認定する衝突被害軽減ブレーキシステムを装備すること。
- (21) 搬送時間短縮や傷病者を安全に搬送するための事故防止及び安心安全な緊急走行、交差点進入時の事故リスクを軽減、補助するため他の車両への緊急車両存在通知機能及び他の救急車（当消防本部が整備している救急車を含む）への車車間通信等の通知サービスをメーター内に表示を有する ITS（高度道路交通システム・送受信機）システムを装備すること。
- (22) 車線の逸脱（はみ出し）を事故防止のため運転者に対し警報音で注意を促し、警報

を運転席で確認できるシステムを装備すること。

- (23) 車両の後方ドアの開口部幅・高さ等については、安全な乗車及び降車、救急資器材、感染防止資器材（陰圧装置付隔離型搬送資器材）等の搬入、ストレッチャー移動時等の安全性、事故防止に配慮した空間（患者室幅・開口高・室内高等）を確保すること。
- (24) 車両左側スライドドアの開口部幅・高さ等は、安全な乗車及び降車、救急資器材の搬入及び搬出に安全性、事故防止に配慮した空間（開口高・幅等）を確保すること。
- (25) 患者室空間は、乗車員の活動スペース及び関係者乗車スペースの安全性、事故防止に考慮した空間（患者室長・幅・高等）を確保すること。
- (26) 患者室のメインストレッチャーと補助席、横向きシート座面上部との間隔は、乗務員の活動（隊員の業務遂行）に支障がないスペース及び関係者の乗車スペースの安全性、事故防止に考慮した空間、間隔を確保すること。
- (27) 天候不良による積雪時、震災等による悪路時にも路面状況や走行状況にあわせて前後のタイヤに駆動力を配分制御し安全に緊急走行できる 4WD 駆動とすること。

2 車両緒元

- | | |
|------------------|--|
| (1) 全長 | 5,700mm以下 |
| (2) 全高 | 2,600mm以下 |
| (3) 全幅 | 1,900mm以下 |
| (4) 室内高 | 1,850mm以上 |
| (5) 室内幅 | 1,650mm以上 |
| (6) 患者室長 | 3,300mm以上 |
| (7) 左スライドドア開口幅 | 1,000mm以上 |
| (8) 左スライドドア開口高 | 1,500mm以上 |
| (9) バックドア開口部高 | 1,500mm以上（床の後端から開口部上端） |
| (10) 乗車定員 | 7 名以上 |
| (11) 駆動方式 | 4 輪駆動（4WD） |
| (12) エンジン | ガソリンエンジン |
| (13) 排気量 | 2,450CC 以上 |
| (14) 出力(ネット) | 140 P S / r p m 以上 |
| (15) トランスミッション | オートマチック(4 速以上) |
| (16) ステアリング | パワーステアリング |
| (17) オルタネーター V-A | 12V140A 以上 |
| (18) 安全装置 | A B S、エアバッグ(運転席、助手席)、衝突被害軽減ブレーキシステム（自動ブレーキ等） |
| (19) 緊急走行支援システム | ITS（高度道路交通システム）送受信機 |
| (20) 車線逸脱抑制装置 | 車線はみ出し警報サポート・アラート等 |

3 外装関係

- (1) 赤色警光灯（LED 式点滅等）

ア 赤色警光灯は、ルーフ一体型埋め込み式の大型散光式警光灯とし、運転席のルー

フ上及び後部のルーフサイド左右に設けること。

赤色警光灯のスイッチは、運転席付近に設定し作動表示用パイロットランプを設けること。

- イ 車両前部大型散光式警光灯及び車両後部左右散光式警光灯、両側上部（ルーフサイド）警光灯は、活動状況に応じて緊急走行中に『ウー音』スイッチや『合成音声スイッチ』と連動し、輝度と点滅パターンを高く変化させ、また停車時『パーキングブレーキ（サイドブレーキ使用時）と連動』し、駐車及び停車時に輝度と点滅パターンを低く変化、消灯させるなど活動状況に応じて発光パターンが変化し、傷病者や現場状況に合わせ光量を変化させること。また緊急走行及び交差点等進入時等に周囲車両への視認を向上させ事故リスクを軽減させること。

（２）拡声装置

スピーカーは、50W以上のものをメーカー指定位置に取り付け、スピーカーは虫が入らない構造とすること。

（３）消防章

フロントパネル部に、直径 150mm の消防マークを取り付けること。

（４）フォグランプ

フォグランプは、フロントバンパー又はグリル付近に左右各 1 個取り付けること。

（５）サイドフラッシャーランプ

他の一般車両や大型車両、歩行者等からの視認障害時等にも視認性を高め進路方向を示し、また事故防止及び他の車両、歩行者等への警告のためフロントドア上部ルーフサイド左右の高い位置に、フラッシャーランプを取り付けること。

（６）路肩灯（LED）

後輪の左右にスモールランプと連動する路肩灯（耐震防水型）を取り付けること。また、両側面下部タイヤハウス前面部に LED ランプ（耐久性、防水性、飛び石等による損傷防止）を取付け運転席付近に別スイッチを設置すること。（同等の光度を有していれば同等品可とする。設置位置は協議する）

（７）赤色点滅灯

フロントバンパー上部に、車両前部大型散光式警光灯及び車両後部左右散光式警光灯スイッチと連動して点滅する LED 式赤色点滅灯を左右に設けること。

（８）LED 作業灯・赤色警光灯

両側ルーフサイドに LED 作業灯・赤色警光灯を前後左右 4 灯取り付けること。また、緊急走行中には赤色に点滅、作業時には車両周囲を点灯させ、点灯等の切替スイッチは、運転室に設け、運転に支障がない場所とすること。

（９）両側上部（ルーフサイド）警光灯

両側上部（ルーフサイド）に赤色警光灯を前後左右 4 灯取り付けること。また車両前部大型散光式警光灯及び車両後部左右散光式警光灯スイッチと連動して駐車及び停車時に輝度と点滅パターンを低く変化、消灯させるなど活動状況に応じて発光パターンが変化し、傷病者や現場状況に合わせ光量を変化させること。また緊急走行及び交差点等進入時等に周囲車両への視認を向上させ事故リスクを軽減させること。

(10) バックドア停止表示灯

バックドア開放時、点滅機能を有する LED 式表示灯をバックドア下部に取り付けること。

(11) アウトサイドミラー

フロント左側にアウトサイドミラーを取り付けること

(12) バックドア後面窓ガラス

バックドア後面窓ガラスは、プライバシー保護の為、全後面くもりフィルムとすること。

(13) 左側側面窓ガラス

左側（助手席側）の側面窓ガラスは、プライバシー保護の為、くもりフィルムとし、スライドガラス扉の一部を透明とし、車両周囲の視認性を確保すること。

(14) 電子インナーミラー

車両後方の安全確認対策として走行中及び患者室活動中の後方確認視界不良状況でも後続走行車両の状況や車外後部の安全確認が常時できるように車両後部面に視認のカメラを設け常時ルームミラーで鮮明な映像（映像信号等による上部視点合成の情報映像は除く）にて後続走行車両の状況及び安全が走行中も常時確認できるようにすること。

(15) 補助ミラー

フロント助手席側に後方確認用アウトサイドミラーを取り付けること。

(16) リヤステップ（バンパー）

車両後方のリアステップ（バンパー）は、乗務員の活動及び傷病者、関係者等が安全に乗降できる事故・転倒防止に考慮し、車両後部バンパーからのリヤステップ幅を安全に配慮した幅とすること。またリヤステップにステンレス製のプロテクターを取り付けると共にアルミ縞板貼りのステップを取り付けること。

(17) 車両周囲視認カメラ・後方視認カメラ

車両の後部面に、バックギア連動式の後方視認カメラを設け、ナビゲーションシステム（7 インチ以上）と連動させ、自車を上空から見下すようにとらえ車体全周囲の安全を確認また切り替えによりカメラにて車両前面部及び車両左右の周囲安全をナビゲーション画面で映像確認できるようにすること。

(18) 半ドア防止機能

両側サイドスライドドア、バックドアが半ドア状態の時自動で確実に閉められる装置を設けること。

(19) サイドバイザー

フロントドアの左右にサイドバイザーを取り付けること。

(20) 外部入力用マグネット式コンセント及びバッテリー充電装置

リヤバンパー左側に容易に着脱できる外部 100V 入力マグネット式コンセント（10m 入力コード）を設けると共に、コンセントを使用しバッテリーが充電できる装置を取り付けること。

(21) リモコンドアロック

純正のリモコンドアロックを取り付けること。

(22) 右スライドドア装備

右スライドドア開閉に連動する照明（LED）及び開放警告灯（運転室）を設けること。

4 外板塗装関係

(1) 塗装は板金完了後、ボディーの完全防錆処理を行い、白色の塗装を行うこと。

(2) 車両の周囲に 70mm 幅の赤色帯を貼ること。（背面ハッチドアを含む）

(3) 車両前面以外の赤色帯は、赤色再帰性反射材を貼ること。

(4) 車両両側面下部に白銀色再帰性反射材（格子柄）を貼ること。

(5) 指定記入文字

①ボディー両側スライドドア上部及び後部ドアに指定文字「稲敷広域消防本部」と記入する。

「稲敷広域消防本部」文字下部に「INASHIKI FIRE PROTECTION DISTRICT」と記入する。

- ・書体 丸ゴシック体
- ・書き方 ボディー文字は両側面及び背面とも左側から右側に向かって記入
- ・文字色 濃紺 再帰性反射材
- ・大きさ ボディー文字は 120mm とし、後部ドアは 100mm とする。

②車両の両側上部に「INASHIKI」と記入すること。

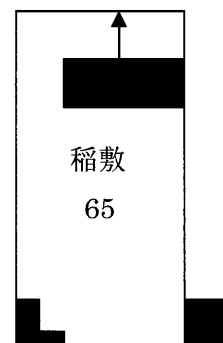
- ・書体 角ゴシック
- ・書き方 左側から右へ記入
- ・文字色 濃紺 再帰性反射材
- ・大きさ 記入位置面積による。

③対空標識記入

車両ルーフ面に「稲敷 65」と記入する。

- ・書体 丸ゴシック体
- ・文字色 濃紺 反射テープ
- ・大きさ 1文字一辺 500mm 以上

屋根サイズにあわせ無線機アンテナに配慮した配置については当消防と協議し決定すること。



④車両後部ドア中央部上部に「救急車適正利用広報」を標示すること。

詳細デザイン及び寸法等については、当消防本部と協議し決定すること。

⑤両側面スライドドア「稲敷広域消防本部」「INASHIKI FIRE PROTECTION DISTRICT」を標示すること。

⑥運転席及び助手席ドアに当消防本部指定エンブレムを標示すること。

詳細デザイン及び位置、寸法等については、当消防本部と協議し決定すること。

⑦バックドアに赤色帯を貼ること。（反射テープ）～道路運送車両法

⑧車両フロント左側前面及び後部ドア右側下部に、配置部署、「龍ヶ崎 2」を記入すること。

- * 各指定記入文字の仕様及び位置等の細部については、艤装前に当消防本部と協議すること。

5 車両内装関係

- (1) 各種電装関係のスイッチは、運転席と助手席の間のインストルメントパネル付近に集中配置し、容易に操作できる構造とすること。

- (2) 電流・電圧計

運転席から視認できる位置に電流・電圧計を取り付けること。

- (3) サイレンアンプ（同等品）

音声合成機能を内蔵したサイレンアンプを視認性、安全性操作に考慮し、インパネ最上部中央部分に取り付け、方向指示器（解除スイッチ付）と連動させること。

※運転者の安全性操作を考慮し、音声合成は、右左折直進等の運転操作と連動したメッセージが出力できるものとする。また、スイッチは機関員が単独で操作する場合の安全性の観点からハンドルから手を放さずに操作できるステアリングスイッチ操作を可能とすること。

※合成音の内容については、当消防本部と協議すること。

電子サイレンは、ピーポー・ウーウーの 2 音式のもので前席中央部の操作しやすい位置に設け、サイレン作動時は赤色警光灯及び点滅灯が連動するものとする。

- (4) ナビゲーションシステム

全国版を備えたモニター型 SD ナビゲーションシステム（チューナーレス）でバックアイカメラが連動し、自車を上空から見下すようにとらえナビゲーション画面（7 インチ以上）で車体全周囲の安全確認ができ、駐車時等に補助し、切り替えによりカメラにて車両前面部及び車両左右の周囲を確認できること。（詳細は当消防本部と協議すること）

- (5) モーターサイレン

モーターサイレンをフロント部に取り付け、メインスイッチを中央部に設置すること。

- (6) マップランプ

助手席左側上部に、カールコードタイプ又はフレキシブルタイプのスポットランプを取り付けること。

- (7) インナーミラー

助手席から患者室を観察できるルームミラーを取り付けること。

- (8) アースボンディング

無線機に入る雑音を防止するためのアースを取り付けること。

- (9) 地図入ボックス

運転席と助手席の間に A3 サイズ以上の地図入れボックスを取り付けること。ボックスに携帯電話等が収納できる小型収納庫を搭載すること。

運転席後部または助手席後部に取り出し可能な A3 サイズ以上の地図入れボックスを取り付けること。（設置場所については協議）

- (10) 外部商用電源入力時スターター・カット

外部商用電源入力中にエンジンスターターが作動しないようにし、警告音が吹鳴す

る構造とすること。

(11) 盗難防止用装置

車両盗難防止スイッチを運転席内へ取り付けること。

(12) バックブザー

後方発進時、警告音を発する装置を備えること。

(13) フロント、スライドステップ滑り止め

フロントドア及びスライドドアステップにアルミ縞板を取り付けること。

(14) ドライブレコーダー（車載搭載カメラ）を取り付けること。

(15) ヘッドライトは、LED ヘッドランプでロービーム、オートレベリング機能付とすること。

(16) ETC 装置を取り付けること。またナビゲーションと音声及び画像を連動させること。

(17) 助手席上部に小型灯（LED）を取り付けること。

6 患者室内架装

(1) 床面の防水処理

患者室フローア、キャビネット及び収納棚下部に防水処理を施し、水洗い可能な構造とすること。

(2) 補助席

患者室左側に補助席を設け、座席をハイバックシート及び 3 点式シートベルトを取り付けることとし、後部に 2 人掛け横向きシート、下方は資機材収納ボックスと一体型のボックスを設けること。二人掛け横向きシート下部収納に予備ボンベ収納が可能な構造とすること。また、2 人掛け横向きシートには、2 点式シートベルトを取り付けること。

(3) ルーフサイド収納庫

患者室左右壁面上部（右前後・左後）に、酸素マスクその他の資機材が収納できる扉付きのルーフサイド収納庫を取り付けること。

(4) ルーフネット

患者室の天井面前後、運転席及び助手席上部に、それぞれルーフネットを取り付けること。

(5) 運転席後部収納装置

運転席後部にオーバーヘッドコンソールボックス又は収納庫を設け、患者室側から資器材の出し入れが容易なものであるとともに、扉を患者室側に向けホワイトボード（A4）を取り付けること。

さらに、オーバーヘッドコンソールボックス又は収納庫内には、高さ調節及び取外し可能な棚又は、ラック若しくは固定ベルトを取付けること。

(6) C 型バネ付フック

モニター等の配線類及びマスク等の、チューブを掛けることのできるフックを患者室右側上部に 5 個取り付けること。

(7) 患者室内灯

照明は、LED4 灯（調光機能付）とし、別に患者灯としてメインストレッチャー頭部

付近の天井 2 箇所及びバックドア内上部に、照射方向を自在に調整できるスポットランプを取り付けること。

(8) 温冷蔵庫取り付け

温冷蔵庫（大自工業又は同等品）を指定する前向き 1 人掛けシート又はメディカルシート下方に取り付けること。電源にあっては、AC100V と DC12V の電源方式であること。

(10) 時計（温湿度計を含む）

デジタル電波時計、（温湿度計を含む）を患者室右側に設けること。

(11) 収納庫

助手席後部にパーテーションボードを設け下部に収納庫（上部面にステンレス製トレイ）付近にペーパータオルホルダーを設けること。

(12) 自動心臓マッサージ器固定（車内固定時充電可能）

助手席後部にパーテーションを設け下部に収納庫を設け、上部に自動心臓マッサージ器及び消毒液収納を固定すること。また自動心臓マッサージ器は、固定時に充電が可能な構造とすること。

(13) ティッシュ / グローブボックス収納

患者室内にティッシュ / グローブボックス収納を 5 つ設けること。仕様及び位置等の細部については、艤装前に当消防本部と協議すること。

(14) アシストグリップ

バックドア開口部左側、スライドドア部に昇降用グリップを取り付けること。

(15) プロテクター

患者室右側後部収納庫に、ストレッチャー搬入時の保護の為プロテクターを取り付けること。

(16) 酸素ボンベ収納庫

酸素ボンベ収納庫は、バルブ開閉用の小窓を設け、10 ㍓ボンベ 2 本が積載可能なものとする。

(17) 窓下側面収納庫

窓下側面に、スクープストレッチャーとバックボードを個別に固定し、使用時には個別に引き出す事が可能な汎用固定装置付きの収納庫を取り付けること。

(18) 人工呼吸器（収納バッグ固定装置）

患者室右側に人工呼吸器収納バッグを固定する装置を設け、容易に人工呼吸器を持ち出し及び車内右側壁面に収納できるよう収納バッグ固定装置を取り付けること。

(19) 人工呼吸器車載固定装置

患者室右側にハンドル付車載着脱装置を取り付け、人工呼吸器本体の車載着脱が可能な構造とすること。

取付位置等の細部については、艤装前に当消防本部と協議すること。

(20) バックドアストラップ

バックドア開閉時に容易に開閉できるように長いストラップを設けること。

(21) ヘルメット収納フック（ネット付き）

運転席上部、助手席上部及び助手席後方患者室のパーテーション上部に走行時の揺

れに配慮したネット付きヘルメット収納を設けること。

(22) 予備の吸引用カテーテルを収納する袋等を設けること。

7 空調関係

(1) 冷暖房装置

運転席、患者室がそれぞれ別系統で有効に冷暖房が行われる装置を設け、運転室にメインスイッチを設置し、患者室にもコントロールスイッチを取り付けること。

(2) 換気装置

患者室上部に、換気装置を設けること。

8 電装関係

(1) DC/AC インバーター

12V→100V 医療用インバーター〈高圧安定装置付〉300W を設け、100V 用コンセント（2口型）を3箇所、患者室頭部側と足元側に設けること。

また、外部商用電源投入時自動切換えとすること。

(2) シガーライター型 DC コンセントを患者室に設けること。

携帯電話専用1箇所を含む3口のものの1箇所。位置等の細部については、艤装前に当消防本部と協議すること。

(3) オルタネーターは140A以上のものとする。

(4) 室内灯外部電源入力

車両メインスイッチ OFF のとき、外部電源で室内灯を点灯できること。

(5) 携帯電話が車両待機中においても充電できるよう、外部電源を DC12V に変換できるようにすること。

(6) バッテリー収納部は、容易に点検整備を行うことが可能な構造であること。

9 通信関係

(1) 無線電話関係

現行救急車のデジタル無線設備を移設積載すること。

①アンテナ及び送受信器（助手席付近、後部送受信器）の機器位置の艤装工事は、当消防本部の指定する無線機業者と調整のうえ実施すること。なお、関係法令等による必要な手続きは、無線機業者が行うものとする。

②機器の位置は、無線機本体及び送受信器が助手席付近、後部送受信器が車両左側補助席上部、デジタルアンテナ屋根部であるが、当消防本部の指定する無線機業者と調整のうえ実施すること。

③無線機及び共用器以外で、無線運用に必要な機器は、適合するものを受注者が必要量負担し取り付けること。

④送受信器及びスピーカーは、運転室と患者室の2箇所に取り付けること。さらに、運転室と患者室スピーカーは遮断スイッチ付の天井埋め込み式とすること。

⑤無線設備に電源を供給するための、電源端子台を点検整備が容易な位置に設けること。

- ⑥アンテナベースの取り付け工事をする事。
- ⑦救急無線運用に必要な配線工事を行うこと。配線は、努めて隠蔽工事とし、極力室内に露出しないようにすること。ただし、必要な箇所には点検口を設けること。
- ⑧配線を敷設する上で、摩擦等による損傷のおそれのある箇所には、配線の保護処置を施すこと。
- ⑨無線設備の各機器の必要な箇所は補強をする事。
- ⑩無線障害（雑音）防止のため、アースボンディングには十分配慮すること。
- ⑪事故防止のため電源ケーブルのバッテリー側には、ヒューズ又はヒューズブルリンク等を設置すること。
- ⑫無線アンテナ取り付け部（ルーフ中央部）が FRP の場合は、無線反射板を取り付けること。
- ⑬無線機の仕様は下記のとおりである。

・型式 OKI 型デジタル無線

現行非常用救急車のデジタル無線を現行救急車に移設積載すること。

（２）車両運用端末装置（既存設備を移設積載する。）

- ①機器位置の艤装工事は、当消防本部の指定する業者と十分調整すること。
- ②移設する車両運用端末装置本体以外で、端末装置運用に必要な機器は、移設する機器に適合するものを、受注者が必要量負担し取り付けること。
- ③車両運用端末装置に電源を供給するための電源端子台を、点検整備が容易な位置に設けること。
- ④各構成機器の接続ケーブルを配線すること。
- ⑤配線等の取り付け方法等は、救急用無線機に準じた方法で行うこと。

（３）車両 1 台に備える通信機器の新規設置に伴う艤装工事は次のとおりとする。

機 器 名	数	単 位	
無線機	1	台	移設設置
無線機取付用金具	2		新規設置
ハンドセット 送受話器（前）	1		〃
ハンドセット 後部通話装置(後)	1		〃
電源ケーブル	1		〃
子機用 6 芯線通線・プレート	1		〃
無線アンテナ	2	本	〃
無線同軸ケーブル	1		〃
無線モニター用スピーカー	1	台	〃
傷病者室無線モニター用スピーカー	1	台	〃
内部スピーカー用スイッチ	2	台	〃
A V M	1	式	移設設置
G P S アンテナ用点検口	1		艤装工事（必要な場合）
A V M 等用電源端子	1		艤装工事

10 看護用装置

(1) メインストレッチャー（電動）

- ・電動ストレッチャーの型式は最新型の装置を有したものを配置すること。
- ・メインストレッチャーとして、電動ストレッチャー（Power-PRO 2）を使用する際、専用の電動リフト装置と連動し、安全かつ簡便に車両への収容、降車ができ、傷病者の落車などのリスクを軽減可能な構造とすること。
- ・患者室内にメインストレッチャー（電動）を確実に固定し、かつ容易に解除できる積載補助固定装置を取り付けること。
- ・ストレッチャー積載固定装置は走行中の振動の影響が軽減される構造であり、移動を生じない構造で安全確実に固定できるものとする。
- ・脱着式のヘッドパッドを設けること。
- ・仰臥位の傷病者の体位変換が可能であること。
- ・血液、汚物等の汚損及び感染症搬送後に、車内の清掃が容易で水洗い清掃が可能な構造とすること。
- ・メインストレッチャー（Power-PRO 2）上に、搬送用保育器を安全確実、簡便に積載固定または解除できる構造で走行中の振動の影響が軽減される搬送用保育器固定装置を設け、安全に搬送できる構造とすること。
- ・電動ストレッチャー（Power-PRO 2）を車両搭載に関して重量検証・搭載取り付け検証、安全検証、品質管理データー等について発注者より求めがあった場合には、書類を提出すること。
- ・電動ストレッチャー（Power-PRO 2）と補助席・横向きシートとの間隔（幅）については、乗車員の活動スペースの確保及び関係者の乗降時の安全性を配慮したスペース（空間）を確保すること。

(2) サブストレッチャー

スクープストレッチャー（固定ベルト付き）をサブストレッチャーとして、右側窓下収納庫へ安全な固定装置で取り付けること。

(3) ハイテクバックボード取り付け装置

バックボード（ファernoモデル 2010）を右側窓下収納庫へ安全な固定装置で取り付けること。

(4) 酸素吸入器及び人工呼吸器

加湿流量計付酸素吸入器を、患者室の壁面に装備すること。なお、流量計までの配管は耐圧のものとし、酸素取り出し口は2口（1口はメデュマット・イージー）とし、接続した人工呼吸器（バック含む）は固定できること。

(5) 点滴固定装置

点滴ボトルを固定するホルダーを、患者室の天井アシストバー付近に設けること。

(1 箇所)

(6) 自動吸引器（アキュバック・プロ）

吸引器は、患者室右側壁面に固定装置により取り付けること。なお、吸引器固定位置付近に吸引カテーテルの予備収納と使用中の吸引カテーテルを保持する装置を設け

ること。

(7) 患者室右側キャビネット取り付け機器

患者室右側キャビネットには、次の機器を取り付けること。

- ・ウォール型アナロイド血圧計（タイコス）
- ・自動体外式除細動器（TEC-2603）
- ・AED 低台座（低台座の上段に TEC-2603 下段にプリンター取付け）
- ・ベッドサイドモニタ BSM-3562-Q91
- ・モニタ台座
- ・人工呼吸器（収納バッグ固定装置及び本体着脱可能固定装置）
- ・吸引器（アキュバックプロ）

(8) 自動体外式除細動器及び人工呼吸器の付近に患者回路等収納庫を取り付けること。

(9) 搬送用保育器（インキュアーチ）及び別途、搬送用保育器をメインストレッチャー（電動）上に積載可能とする固定装置を設けること。

11 その他の装置

- (1) 自動車用消火器 ABC 型 1.8 k g を設置すること。
- (2) 患者室の右側面は全面白色とし、バックドアガラスは熱線ガラスとし、スイッチによりガラスの曇りを解除できる構造にすること。
- (3) 運転室にラジオ・時計を設けること。

12 その他

- (1) 前記に定める以外の仕様は、メーカー公表の標準仕様とすること。
- (2) 別表に掲げる資機材を積載するものとし、別に積載装置、固定装置等が必要な場合は資機材に含め、一式として取り扱うこと。
- (3) 全ての資機材を、収納庫に収めること。なお、積載にあたっては積載位置、積載方法について、及び、移設する資機材の固定金具、固定用ベルト等についても、当消防本部と協議すること。

本仕様書において既存設備移設又は載せ替えとしているものについては、必要な固定金具、固定ベルト及び電氣的接続等の工事を含むものであること。

- (4) 車両の重量規定に反することのないように製作すること。
- (5) 契約後、本仕様書で指定した装備、資機材が装備できない場合には、当消防本部と協議の上、同等品以上のものを装備積載すること。なお、指定した装備、資機材に更に新改良があった場合には、更新改良後のものを装備、積載すること。
- (6) 電動ストレッチャーが通常使用できない状況となった場合には、速やかに救急出場体制を整えるため、受注者は代替え機を準備すること。修理に関する詳細については当消防本部と協議すること。
- (7) 当消防本部が指定する日時、場所において、取り扱い説明及び技術指導を行うこと。ただし、経費等すべて受注者の負担により行うものとする。
- (8) 高規格救急車を更新することにより、既存救急車が非常用救急車又は廃車車両に、または、非常用救急車が廃車車両になる場合には、受注者が保管、手続き及び費用、

- 車両運搬を負担すること。手続き・車両運搬、廃棄、保管等については、受注した年度内に行うこと。
- (9) 高規格救急車を更新することにより、救急車の配置換えが発生した場合には、手続き及び費用は、受注者の負担により行うものとする。
 - (10) 新たに非常用救急車となる車両のフロント左側前面及び後部ドア右側下部に、車両配置名及びルーフ面の対空表示番号を記入変更すること。なお、各指定記入文字の仕様及び位置等の細部については、艤装前に当消防本部と協議すること。
 - (11) 納車日については、当消防本部と日程調整、協議をすること。
 - (12) 受注者は、完成車両（救急用装備品、艤装品、消耗品等については同等品等を含む）の納期について契約書に記載した期日を超過しないように最善をつくすこと。
 - (13) 納期に関する期日に関しては、当消防本部と協議し承認を得ること。
 - (14) 納期日の超過等により費用が発生する場合には、受注者の負担とする。

災害対応特殊救急自動車

1. 車両・機装関係

No.	品 名	規格・型式等（又は同等品）	数量	備考
1	車両本体	高規格救急自動車	1	
2	赤色警光灯取付 ルーフ一体型（LED）	大型フロント散光式（LEDボディ内臓式）	1	
		大型リア散光式（LEDボディ内臓式）	1	
3	フォグランプ	フロントバンパー	1	
4	サイドフラッシャーランプ	サイドフラッシャーランプ取付（両側ルーフサイド上部）	1	
5	補助ミラー	助手席型アウトサイドミラー＋サイドバイザー	1	
6	衝突被害軽減ブレーキシステム		1	
7	ITS	高度道路交通システム	1	
8	サイドバイザー	フロント左右	1	
9	リモコンドアロック	純正品	3	
10	電流・電圧計	電流計・電圧計	1	
11	小型灯（LED）	助手席上部LED灯取付	1	
12	電子インナーミラー		1	
13	助手席用インナーミラー	助手席用インナーミラー	1	
14	地図入れボックス	地図入れ（大型・小型収納庫搭載）／（運転席後部）	1	
15	バックブザー	後方発信時連動（音声合成）	1	
16	DC/ACインバーター	インバーター300W助手席後部	1	
		DC12V電源自動切替改造（携帯電話＋室内蛍光灯＋医療機器コンセント＋生体情報モニター）	1	
17	オルタネーター	140A以上	1	
18	床面防水	キャビン、収納庫下部含む	1	
19	補助席	ハイバックシート3点式シートベルト	1	
20	メディカルシート	跳ね上げ式 下部収納庫又は温冷蔵庫取付	1	
21	横向き2（3）人掛シート	2点式シートベルト下部収納	1	
22	ルーフネット	ルーフネット左前（ショート）	1	
		ルーフネット左後（ショート）	1	
23	オーバーヘッドコンソール又は縦型収納庫	棚段1段	1	
		棚段2段	1	
24	ルーフサイド収納庫	ルーフサイド 右前（施錠装置付）	1	
		ルーフサイド 右後	1	
		ルーフサイド 左後	1	
25	C型バネフック	C型バネフック右側上部	5	
26	室内灯	LED（全光-30％減光）（LED調光機能付き）	4	
		AC100V電源自動切替改造	1	
27	スポットランプ（患者灯）	天井2 バックドア1	1	
28	AC100Vコンセント	2口型 右前後	2	
29	DC12Vコンセント	DC12Vコンセント3口（右窓前部）	1	
30	ペーパータオルホルダー	ペーパータオルホルダー	1	
31	手洗い装置収納庫改造	上部面ステンレス製トレイ	1	
32	パーテンションボード	心臓マッサージ器収納 消毒液収納	1	
33	点滴固定装置	輸液便ホルダー天井アシストバー	1	
34	冷暖房装置		1	
35	窓下側面収納庫	スクープストレッチャー・バックボード固定装置	1	
36	酸素ボンベ収納庫	9.4ℓボンベ2本用（標準装備）	1	
		酸素ボンベ収納庫上レール	1	
37	ティッシュ/グローブボックス収納		3	
38	処置トレイ	マグネット式脱着式	2	
39	換気装置	調整スイッチ付	1	
40	サイドステップランプ	ドア連動	1	
41	汚物入れ	キャビネット下部	1	
42	患者回路等収納庫	患者回路（蛇管）等収納庫	1	
43	酸素呼吸器改造	酸素ボンベ2本対応改造	1	
44	人工呼吸器	固定装置	1	
45	吸引器	アキュバック・プロ用固定装置	1	
46	ヘルメット収納	ヘルメット収納用フック&ネット3個	3	

2、取付品及び附属品

No.	品 名	規格・型式等（又は同等品）	数量	備考
1	メインストレッチャー一式（予備バッテリー・枕含む）	日本スライカー製 Power-PRO 2 6507 電動ストレッチャー	1	
		Power-PRO 2 共通部品	1	
		Power-PRO 2 XPSサイド レール	1	
		Power-PRO 2 ファスターアタッチメント	1	
		Power-PRO 2 ホールロック（4個）	1	
		Power-PRO 2 IVホール（右3段式）	1	
		Power-PRO 2 寝台ヘッド エント	1	
		Power-PRO マットレス XPSサイド レール用	1	
		Power-PRO X拘束帯セット	1	
		Power-PRO 2 車用ケーブル	1	
		Power-PRO ヘッド エント 収納ネット	1	
		Power-PRO 2 寝台裏収納ボックス	1	
		Power-PRO 2 電源ケーブル	1	
		Power-PRO 2 バッテリー充電器	1	
		Power-PRO 2 バッテリー充電器取付板	1	
		Power-PRO 2 搬送用保育器固定	2	
		Power-PRO 2 バッテリー	1	
	メインストレッチャー積載補助固定装置	POWER LOAD 電動ファスナー	1	
2	搬送用保育器	インキュアーチ本体（付属品含む）	1	
		リチウムイオンバッテリー	1	
		高低スタンド	1	
		多目的ボール	1	
		MFレール 7cm/ボール取付式	1	
		やわらか児固定バンド ディスゴ	1	
		やわらかフェイス	1	
		減圧調整器 酸素用	1	
		セフティ加湿器 0X-230	1	
	搬送用保育器固定装置	メインストレッチャー用固定装置	2	
		セフティフロ-0X248 レール取付式/ピン固定	1	
3	電子サイレン	サイレンアンプ” ハンドマイク付き（ハンドル操作）	1	
		右左折メッセージメインスイッチ取付	1	
		サイレン音ブッシュスイッチ	1	
		直進音声メッセージ用スイッチ	1	
		交差点音声メッセージ用スイッチ	1	
4	赤色警光灯	発光パターン変更・光量変更	1	
5	酸素呼吸器	オキシバック0X-ⅢS（ジュンロン2口）	1	
		酸素ボンベアルミ9.4ℓ	2	
		オキシマスク 成人用耳掛けバンド式（1箱）	1	
		オキシマスク 小児用（1箱）	1	
6	人工呼吸器	メデュマット・イージーCPR ライトキャリングセット	1	
		バッグ固定装置	1	
		着脱装置	1	
		酸素ボンベアルミ2ℓ	2	
		減圧弁ヨーク型0xyFlow200	1	
		患者ホースセット	1	
		蘇生マスク（成人・小児・乳児）	1	
	手動式人工蘇生器	コンビバック	1	
7	吸引器	吸引器 アキュバックプロ	1	
		プロ用ウォーターボトルポーチセット	1	
		リューザブルボトルセット	1	
		フィルター	1	
		フィンガーチップ	1	
8	エアウェイ	経口エアウェイ キャスガイドエアウェイ 大	1	
		経口エアウェイ キャスガイドエアウェイ 中	1	
		経口エアウェイ キャスガイドエアウェイ 小	1	
		経鼻エアウェイ 7mm（1箱）	1	
		経鼻エアウェイ 8mm（1箱）	1	
		経鼻エアウェイ 6mm（1箱）	1	
9	体温計	皮膚赤外線体温計 サーモフレーズ（電池付）	1	

10	消火器	ABC型1. 8kg	1	
----	-----	------------	---	--

取付品及び附属品

No.	品 名	規格・型式等（又は同等品）	数量	備考
1	消防章	フロント消防マーク 直径15cm	1	
2	ナビゲーションシステム	SDナビ（チューナーレス）	1	
3	スタッドレスタイヤ	スタッドレスタイヤ4本（ホイール付）	1	
4	タイヤチェーン一式	タイヤチェーンイエティースノーネット	1	
5	三角停止板	三角停止板（法令適合品）	1	
6	車輪止め	車輪止め（硬化ゴム製）	1	
7	自動心臓マッサージ器	LUCAS3	1	
		バッテリー（予備含む）	1	
		アダプター	1	
		バッテリーチャージャー	1	
8	聴診器	リットマンクラシックⅢ 一般診療用	1	
		リットマンクラシックⅡ 小児用	1	
9	耐震型血圧計	アネロイド血圧計 ウォール型タイコス	1	
		ウォール型血圧計取付	1	
		カフ（中）	1	
		カフ（小）	1	
10	アネロイド血圧計ポケット型	タイコスポケット型2チューブケース付	1	
		カフ（中）	1	
		カフ（小）	1	
11	マギール鉗子	成人用	1	
		小児用	1	
12	保温・搬送用資機材	ターボリン担架	1	
13	開口器	開口器 ハイステル式	1	
14	観察用資機材	ペンライト瞳孔ゲージ付（電池付）	1	
15	呼吸器循環器管理用資機材	舌鉗子 コラン式	1	
16	分娩セット	分娩セットA型（ベビーキャップ含む）	1	
17	救急バック	エマージェンシーメディカルバック（WDX-MATRIX）	1	
		ジャンプキットバック WJK-1C	1	
18	膿盆	膿盆セット ステンレス（30×5.5 24×4 20×3）	1	
19	赤色帯	赤トリムライン（70mm）	1	
20	白銀帯	両側面下部	1	
21	モーターサイレン	モーターサイレン5SA型	1	
		スイッチ増設（インパネ中央）	1	
22	救命ブイ	ライフボールS	1	
23	救急はさみ	レスキューシザー	1	
24	創傷等保護用資機材	副子ソフトシーネ（L、M、S）一式	1	
		フローティングロープ50m	1	

高度救命処置用資機材

1. 気道確保用資機材一式

No.	品 名	規格・型式等（又は同等品）	数量	備考
1	気道確保用資機材	喉頭鏡メガライトセット（LED式）ブレード5本セット	1	
2		ラリングエルチューブ サイズ3	10	
3		ラリングエルチューブ サイズ4	10	
4		ラリングエルチューブ サイズ5	10	
5		ソフトシールカフ付気管内チューブ7号10本入	1	
6		ソフトシールカフ付気管内チューブ8号10本入	1	
7		ポーテックススタイレット（4mm）10本入	1	
8		トーマスセレクトチューブホルダー（1箱）	1	
9		イージーキャップⅡ（成人用）	1	
10		バイトブロック大	1	
11		バイトブロック中	1	
12		バイトブロック小	1	

2. 自動体外式除細動器（二相波形式）

No.	品 名	規格・型式等（又は同等品）	数量	備考
1	自動体外式除細動器	TEC2603（バッテリー及びレポート表示ソフトウェア含む）	1	
2		除細動パッドP-721（1箱）	1	
3		記録紙FQWS0-3-100	1	
4		リチウムイオンバッテリーSB-220V	1	
5		SDメモリーカードQM-002D	1	
6		バッテリーチャージャーSB-205V	1	
7		C02センサキット940P	1	
8		電源コード W L945	1	
9		記録器WS-261V	1	
10		テストロードAX-250V	1	
11		ビットロードL-150X	1	
12		予備バッテリー	1	

3. 輸液用資機材一式

No.	品 名	規格・型式等（又は同等品）	数量	備考
1	輸液用資機材	輸液セット TI-U3571P11（1箱）延長チューブ・三方活栓付	1	
2		スーパーキャス18G（静脈留置針）	1	
3		スーパーキャス20G（静脈留置針）	1	
4		スーパーキャス22G（静脈留置針）	1	
5		スーパーキャス24G（静脈留置針）	1	
6		テープポア サイズ12mm	1	
7		テープポア サイズ25mm	1	
8		テープポア サイズ50mm	1	
9		固定テープ ハイラテ サイズ25mm	1	
10		固定テープ ハイラテ サイズ50mm	1	

4. 血糖測定器

No.	品 名	規格・型式等（又は同等品）	数量	備考
1	血糖測定器メディセーフフィットスマイル	0E-1GC03（電池付）	1	
2		ファインタッチ ディスボ0E-1GC05-B	1	

5. 血中酸素飽和度測定器

No.	品 名	規格・型式等（又は同等品）	数量	備考
1	血中酸素飽和度測定器	MasimoSETフィンガー	1	

6. 心電計及び心電図伝送装置

No.	品 名	規格・型式等（又は同等品）	数量	備考
1	ベッドサイドモニタBSM-3562		1	
2		心電図コード BJ-900P	1	
3		バッテリーパックSB-671P	1	
4		記録紙FQW50-2-100	1	
5		エアウェイアダプタ YG-211T	1	
6		フィンガープローブTL-201T2	1	
7		マルチプローブTL-220T	1	
8		ディスポオキシプローブTL-272T	1	
9		ディスポオキシプローブTL-273T	1	
10		幼児カフYP-710T	1	
11		小児用カフYP-711T	1	
12		成人用カフ（大）YP-714T	1	
13		成人用カフ（標準）YP-713T	1	
14		心電図12誘導解析プログラム	1	
15		INIPBプログラム	1	

災害対応特殊救急自動車・高度救命処置用資機材

1 救急自動車関係

No	品 名	規格・型式等（又は同等品）	数量	備考
1	リアバンパープロテクター	プロテクター（ステンレス製）	1	
2	ドアイージークローザー	サイドドア・バックドア	1	
3	文字記入一式	ボディー両側面及びハッチバックドア、（稲敷広域消防本部）	1	
		ルーフ両側面（INASHIKI）	1	
		後部ドア中央（救急車適正利用広報）	1	
		両側面ドア（消防本部指定エンブレム）	1	
		対空表示，所属名	1	
4	ヘッドライト	LEDヘッドライト，オートレベリング機能付	1	
5	外部入力用マグネット式コンセント	マグネットコンセント（リアバンパー左側）	1	
6	スターターカット	外部電源入力時スターターカット改造	1	
7	盗難防止装置	誤発進防止装置	1	
8	車両運用端末装置移設	A V M 取付（取り外し・積載替え）	1	
		A V M 用台 I 型	1	
		A V M 用電源端子（助手席後部）	1	
9	アルミ鎚板取付	フロントステップ アルミ鎚板	1	
		左サイドステップ アルミ鎚板	1	
10	ドライブレコーダー取付	ドライブレコーダー	1	
11	ETC装置取付	ETC車載取付 運転席ビルトイン	1	
12	温冷蔵庫固定装置	冷蔵庫	1	
13	時計（室温計含む）	電波時計（デジタル）	1	
14	アシストグリップ	スライドドア部アシストグリップ	1	
15	カテーテル予備収納袋	吸引力カテーテル予備収納袋	1	
16	ガラス曇りフィルム	後面全面くもりフィルム	1	
		右全面「白色」フィルム	1	
		左窓全面＋スライド扉真ん中のみ2/3くもりフィルム	1	
17	フロアマット	フロアマット	1	
18	赤色誘導ライト	LED合図灯 TRV-2H8（電池付）	1	
19	非常信号灯		1	
20	予備電球、予備ヒューズ	予備ヒューズ、バルブ（標準付属品以外に使用しているすべての規格品各1）	1	
21	補修用塗料	車両に使用している塗料100cc	1	
22	ライト	ステルスライトLED（蓄光）イエロー（電池付）	3	
23	ブースターケーブル	ブースターケーブル	1	
24	消火器取付位置変更		1	
25	アースボンディング	アースボンディング	1	
26	バッテリー充電器	全自動電子バッテリー管理器SA-12PX	1	
27	路肩灯	路肩灯（メインスイッチ付）LED式 スモールランプ連動	1	
	LEDライト	LEDライト 別途スイッチ	1	
28	赤色点滅灯	フロント赤色点滅灯 大阪サイレン（LFA-150LED灯）	1	
29	LED作業灯	車両左右2灯	1	
30	希望ナンバー	ナンバー	1	
31	無線機	OKI製デジタル無線機（無線機載せ替え・既存車呼称名称変更）	1	
		無線機取付用金具	1	
		子機用6芯線通線（左）＋プレート	1	
		無線アンテナ2本増設	1	
		無線同軸同軸ケーブル5D2V通線	1	
		無線モニター用スピーカー（右）	1	
		傷病者室無線モニター用スピーカー（左）	1	
32	ホワイトボード	ホワイトボード（A4）	1	
33	諸費用一式	諸費用（エンジンオイル＋エレメント交換）	1	
34	新規検査書類・承認図	新規検査書類及び承認図	1	
35	車両変更費用	各種届出手数料	1	

2、救急用資機材関係

No.	品 名	規格・型式等（又は同等品）	数量	備考
1	創傷等保護用資機材	スティフネックセレクト	10	
		ディスプレイヘッドイモビライザー	20	
2	保温・搬送用資機材	レスキューシート モデル44	1	
3	聴診器	リットマンクラシックⅡ 新生児用	1	
4	ペンライト	ペンライト 瞳孔ゲージ・電池付	1	
5	体温計	電子体温計ET-C206E	1	
		電子体温計MC-687	1	
6	開口器	開口器 エスマルヒ式	1	
7	呼吸循環管理用資機材	オキシバック（WOB-1）20用	1	
		ヤンカーサクションカテーテル	20	
		新生児用羊水カテーテル （1箱）	1	
8	分娩セット収納バック	収納バックA900	1	
9	トリアージエリア	トリアージエリアセット	1	